

平成20年度 第4回 真田地域協議会 会議次第

平成20年7月23日(水) 午後7時

真田地域自治センター 301会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 真田地域自治センター長あいさつ

4 会議事項

(1) 信州上田観光ビジョンについて

(2) 真田地域における図書館施設の整備に関する意見書(案)について

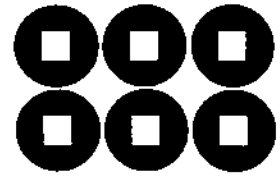
(3) わがまち魅力アップ応援事業 選考に係る意見書の回答について

(4) 地域協議会の運営方法(グループ協議)について

(5) その他

5 その他

6 閉 会



信州上田観光ビジョン

「旅のミュージアム都市上田の創造」

(概要)



うえだ



ねらい

平成 15 年に年間訪日外国人数 1,000 万人を目指すビジット・ジャパン・キャンペーンがスタート。平成 18 年 12 月には観光立国推進基本法が成立し、観光を 21 世紀の国の重要な政策の柱にすることが法律上明確化された。

こうした中、上田市では観光をリーディング産業と位置づけ、菅平高原から美ヶ原高原までの幅広い地域資源を生かした観光施策を展開してきた。

今、観光を取り巻く環境は大きく変化しており、観光をビジネスとして大きく発展させていくためには、さらに戦略的な政策展開を行っていく必要がある。

上田市の魅力とは何か、上田市が狙うべきターゲットはどのような人々か、そして、このターゲットに対して上田市はどのような商品やサービスを提供していくのか。観光ビジョンは、市民、観光関連事業者、各種団体、行政が協働して、このような課題に取組み、戦略的に観光振興を図っていくための方策を示すものである。

観光ビジョンの構成

はじめに ～日本をリードする観光立市への挑戦～

観光を取り巻く現状を述べ、なぜ今、観光なのかについて説明。

第1章 上田市の魅力をより高めるための課題

観光振興を図って行く上での課題を分析。

第2章 地域を元気にする基本コンセプトの確立

第3章 多様な地域資源が生かされた「旅のミュージアム都市上田」の創造

第4章 訪れた皆さんに喜んでもらえる観光戦術を考える

第 2 章から第 4 章までは第 1 章で分析した課題に対応するための具体的な戦略を記述。

第5章 観光まちづくりへの道

住む人が魅力を感じるまちをつくり、その結果として訪れる観光客にとっても魅力的なまちづくりが可能になるという視点から、市民の皆さんに考えていただきたいこと、取り組んでいただきたいことを述べる。

第6章 観光ビジョンの実現に向けて

観光ビジョンを実現するためのしくみについて述べる。



第1章

上田市の魅力を

より高めるための課題

- ・ 感動を呼ぶ地域ブランドづくり
- ・ 多様な楽しみの創出
- ・ ターゲットに応じた戦略展開
- ・ 観光基盤の整備

- ・ 課題は「感動を呼ぶ地域ブランドづくり」から「観光基盤の整備」までの4点。
- ・ 最大のポイントは「感動を呼ぶ地域ブランドづくり」。
- ・ 例えば、軽井沢、小布施、安曇野といえば、行ったことのない人でも何となくそのイメージを思い浮かべることができる。
- ・ 小布施といえば、北斎館周辺の町並み、安曇野といえば、わさび田と水車小屋といったイメージだが、簡単にいえば、これが地域のブランドイメージ。
- ・ 一方、上田市には明確なコンセプトに基づいた核となるイメージがないため、外部の人が上田市のイメージを思い浮かべることが難しい。

第2章

●基本コンセプト

～都会人の第2のふるさと(理想の田舎)を目指す～

豊かな自然環境と田園風景、城下町の風情、伝統のある温泉地、ノスタルジックな別所線など、田舎としての上田が観光地としての強みである。

しかし、世界遺産となるような田舎の風景を擁する地域と同じ土俵で勝負しても勝ち目はない。

そこで、東京から新幹線で1時間半程度という首都圏に近い地理的条件を活かして、「ちよびり田舎気分を味わいたい都会の人々のための理想の田舎」を基本コンセプトに地域づくりを行う。

世の中、本物志向といわれるが、汗と泥にまみれて本物の農業をしたいという人は少数派。体験農業のように田舎のいいところ取りをしたいと考える観光客の方が多いのではないかと、という考え方に基づいている。



第3章

信州上田観光ビジョン「観光」の分野に関する施策

「観光」の分野に関する施策

9つの地域協議会の答申を受けて第一次上田市総合計画に盛り込まれた「地域まちづくり方針」等に基づき、上田市内に7つのエリアを設定。観光客に様々な田舎の姿を提供する。

まゆの里エリア

蚕室づくりの町並み、桑の生産に使われた段々畑など養蚕の最盛期を今に伝える風景と里山や桜つつみホタル水路など自然あふれる風景に包まれた地域。

体験農業エリア

稲倉の棚田、麻蒔りんご園など、田舎暮らしに憧れを抱く都会の観光客に理想の田舎体験を提供できる地域。

城下町エリア

上田城、城下町として整備された町並み、北国街道の面影を残す家並み・・・・
歴史を体感できる風景が今に生きている地域。

ローカル線で楽しむ 田園エリア

多くの史跡・文化財に加え伝統ある温泉に恵まれた地域。
別所線から眺める田園風景は、観光客の心を癒してくれる市の象徴的なスポット。

水辺エリア

「上田 道と川の駅」の整備も計画されており、水辺の体験メニューを提供できる地域。
水辺の体験については、他のエリアのメニューとともにPR。

高原エリア

真田氏発祥の地であり、スポーツ合宿のメッカ菅平高原を擁する地域。
豊かな自然環境を生かした参加・体験型観光で、上田市の観光の牽引役となる。

自然と健康エリア

丸子温泉郷と優れた医療機関の連携による健康をキーワードとした観光地づくりが可能な地域。美ヶ原高原をはじめとした武石地域の雄大な自然も魅力。

第4章

観光地上田の全体像を踏まえ、観光施策を戦略的に展開していくため、「信州上田観光ビジョン」では、83の具体的な施策から構成される「戦略の7つの柱」を示す。

- 上田らしさのブランドづくり
- 観光メニューの充実
- おもてなしの基盤づくり
- ターゲットに応じたおもてなし
- ※スペシャル・インタレスト・ツアーへの挑戦
- プロモーションを含めたマーケティング
- 観光ビジョンを実行し、改善するしくみ

※SIT(スペシャル・インタレスト・ツアー)
 特別の事柄について、特別の関心を持った人々に対する特別のツアー。
 例えば、上田市内の数あるロケ地の中でも、大林宣彦監督の作品に限定したロケ地のツアー、かつてのレールやホームを巡る“魔練ツアー”などが考えられる。

具体的な施策の主なもの

- ・郷土料理の発掘とブランド化
- ・お土産等のブランド化
- ・ホテルによる地域イメージの向上
- ・田園風景を象徴する別所線のランドマーク化
- ・上田の歴史文化の物語を学ぶ旅(カルチュラルツーリズム)の推進
- ・フィルムツーリズムの推進
- ・まちなか観光の推進
- ・農業・農家体験観光の推進
- ・国民保養・国民保健温泉地の丸子温泉郷と医療機関の連携による療養プログラムの開発
- ・旅の企業家(アンタビプレナー)の育成と支援
- ・ボランティアガイド講習会等の充実
- ・外国人旅行者へのおもてなしの向上
- ・教育旅行を対象とした体験プログラムの開発・提供と誘致活動の実施
- ・やすらぎ・癒しツアープログラムの開発
- ・国内の旅行博や商談会への参加
- ・観光ビジョンを実行する組織の設置
- ・周辺市町村との連携の強化

第5章

観光まちづくりへの道

住む人が魅力を感じるまちをつくり、結果として、訪れる人にも魅力的なまちができる。

市民が観光まちづくりの中心である。

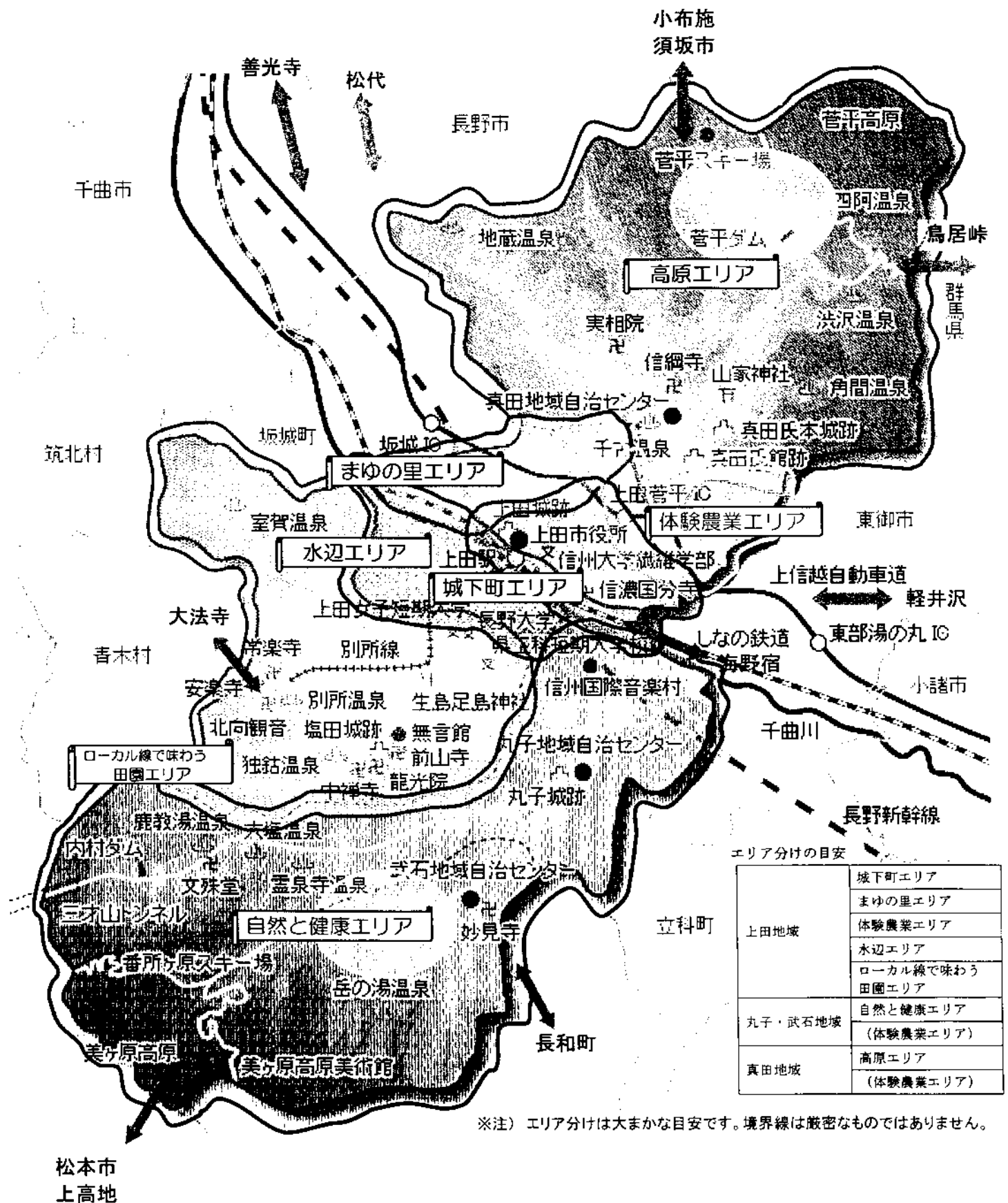
- 1 おもてなしの心
- 2 景観を市民の手で守り、つくりあげる
- 3 地域を歩いて、まちの魅力を発見しよう

第6章

観光ビジョンの実現に向けて

- アクションプランの策定
- 各主体の役割
- 実績の評価と見直し
- 目標値の設定

地図で見る「旅のミュージアム都市上田」



エリア分けの目安

上田地域	城下町エリア
	まゆの里エリア
	体験農業エリア
	水辺エリア
	ローカル線で味わう田園エリア
丸子・武石地域	自然と健康エリア (体験農業エリア)
	高原エリア (体験農業エリア)

※注) エリア分けはだまかな目安です。境界線は厳密なものではありません。

平成20年7月 日

上田市長 母袋 創一 様

真田地域協議会
会長 清水 潤

意見書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	真田地域における図書館施設の整備に関する意見
2 意見内容	別紙のとおり

意見内容（案）

真田地域協議会は、平成19年12月11日付け19真地振第83-2号で示された、市側からの「真田地域における図書館施設の整備に関する意見」に対する回答内容について、本年1月から6回にわたり鋭意議論を深め、本地域協議会としての意見を下記のとおり取りまとめました。

上田市においては、本地域協議会の意見を尊重いただき、真田地域の図書館施設整備が早期に実現されるよう、特段の御配慮を希望いたします。

記

1. 真田地域自治センター1階を活用した図書館整備について

地域自治センター1階を図書館として整備することについては、単に地域の図書館整備のあり方に留まらず、地域自治センターを利用されている多くの地域住民にも影響が及ぶことから、幅広く地域内の団体に意見を求めたところ、聴取した意見の多くは地域自治センター機能の現状維持を強く望むものでありました。

特に行政機能を地域自治センター2階へ移転することは、超高齢社会のなかで求められる高齢者・障害者に対する配慮に欠けるものと懸念されるものです。

これらの状況から、本地域協議会としては、地域自治センター1階を活用した図書館整備については、地域が望む図書館整備のあり方とは相違するものであり、地域住民の合意を得ることは困難であると判断するに至りました。

従って、地域自治センターは地域の拠り所として、地域のまちづくりや地域防災の拠点機能等を担う施設として活用すべきと考えます。

2. 真田地域における図書館施設の整備場所について

上記のとおり方向付けたことから、改めて図書館施設の整備場所についても聴取した意見を参考に検討した結果、多くの市民に利活用される施設とするためには、多くの人が集まる場所を第一として、さらに、中学生の図書館利用や公共交通機関の利便性などを総合すると、真田地域自治センター周辺が好ましい場所と考えられます。

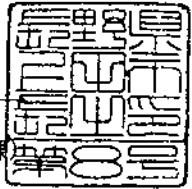
具体的には、地域自治センターが持つ機能を有効活用し、両施設の結び付きをも考慮すると、現在上田地域シルバー人材センター真田支所が事務所として使用している真田地域自治センター北庁舎の位置に整備することが望ましいと判断いたしました。

つきましては、この意見内容に沿って図書館施設整備が早期に実現できますよう、実施計画の策定や予算編成において、特段の御配慮をお願い申し上げます。

20 真地振第 27 - 2 号
平成 20 年 6 月 18 日

真田地域協議会
会長 清水 潤 様

上田市長 母袋 創
(真田地域自治センター 地域振興課)



回 答 書

平成 20 年 6 月 18 日付け 貴地域協議会から提出のあった意見書について、
下記のとおり回答します。

記

- 1 件 名 「わがまち魅力アップ応援事業」について
- 2 回答内容 別紙のとおり

回答内容

真田地域協議会におかれましては、依頼しました「わがまち魅力アップ応援事業」の選考について、熱心に御協議いただき、該当地域の選考申込事業に係る御意見をおまとめいただきましたことに対して、厚く御礼申し上げます。

御協議いただきました、真田地域に係る「平成20年度 わがまち魅力アップ応援事業」については、貴地域協議会から提出いただきました御意見を尊重し、下記のとおり補助金を交付する事業を決定いたします。

記

平成20年度 わがまち魅力アップ応援事業 採択事業 [真田地域協議会分]

1. 個性あるふるさとづくり応援事業 : 採択事業 1件

- (1) 申請者 菅平区 代表: 菅平区長 鈴木 正人
- (2) 事業名 ダボスの丘 遊歩道整備事業
- (3) 補助金額 1,500,000 円

2. 特色あるまちづくり応援事業 : 採択事業 1件

- (4) 申請者 らいてうの家 運営委員会 代表: 米田 佐代子
- (5) 事業名 あずまや高原を憩いの広場に育てる事業
- (6) 補助金額 549,000 円

○平成 20 年度 わがまち魅力アップ応援事業 1 次募集採択事業一覧表

地域	平成 20 年度採択事業〔1 次募集分〕
全市域	<p>【まちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上田エリア子育て情報誌「ままっぷ」製作事業 (With: mom) ・ 3 on 3 in 上田 (3 on 3 in 上田実行委員会) ・ 上田 16 万市民の安心・安全を守る災害に強い上田市づくり (上小建設事業協同組合) ・ 上田市民 1000 人合唱フェスティバル (魅力ある新市民会館等の実現を考える会) ・ 妊婦健診推進キャンペーン事業 (お産育児ネットワークグループパム) ・ 食品トレイ使用品目削減の啓発活動 (うえだエコライフネットワーク) ・ 真田幸村のふるさと上田 P R & おもてなし事業 (上田城甲冑隊) ・ 「うえだファン」をつくろう! 事業 (U F M Group)
上田中央地域	<p>【ふるさとづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的街並みを保存、活用し発信する事業—柳町ミュージアムプラン (柳町自治会) ・ 押出川流域ウォーキングトレイル整備事業 (押出川関連五自治会連合会) <p>【まちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 真田幸村ファンの集い街中イベント (真田幸村ファンの集い実行委員会) ・ 中心市街地に残る洋風建物の価値の再認識と P R (うえだ洋館物語)
上田西部地域	<p>【ふるさとづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西小学校を拠点とした災害時、安心なまち、ふるさとづくり (西部地区自治会連合会) ・ 塩尻地区歴史の散歩道整備事業 (塩尻地区自治会連合会) <p>【まちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医者を知ろう [主治医をさがせ] (西部地域を考える会)
上田城南地域	<p>【ふるさとづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的行事 (道祖神・盆踊り・どんど焼き) を大切にする川辺町自治会 (川辺町自治会) ・ 四季折々の花と緑と山菜・茸の里づくり半過自治会 (半過自治会)
神科・豊殿地域	<p>【ふるさとづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あやめの里づくり事業 (豊殿地区自治会連合会) ・ 歴史・文化を生かし、水と緑豊かな郷土づくり (神科新屋自治会) ・ 歴史の薫る町並み紹介と史跡保存活動を生かした地域づくりの里 (伊勢山自治会) <p>【まちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと豊殿郷土史づくり事業 (豊殿地区公民館活動活性化委員会) ・ 人の輪により、里山周辺の荒廃地の復活とふるさとの再生 (男磊の会) ・ 稲倉棚田大収穫祭 (稲倉保存会)
塩田地域	<p>【ふるさとづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化に親しむ会 (五加自治会) ・ 下本郷地区花と緑の街づくり (下本郷自治会) ・ 水・環境を守る癒しの里手塚自治会 (手塚自治会) ・ 西行塚を中心に中野の歴史遺産を活かしたふれあいの里中野自治会 (中野自治会) ・ 独自の歴史文化を共有し、引き継ぐ交流のまち奈良尾自治会 (奈良尾自治会) <p>【まちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信州の鎌倉中塩田地区夏祭り (中塩田地区夏祭り実行委員会) ・ ほっと! 湯ったり! まるごとプロジェクト (ほっと! 湯ったり! まるごとプロジェクト実行委員会)

川西地域	<p>【まちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アヤメ街道ふれあいの里づくり（町小泉アヤメを育む会） ・初夏のふれあいフェスティバル（岡の里山を守る会）
丸子地域	<p>【ふるさとづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辰ノロバイパス道路景観整備事業（辰ノロ自治会） ・史跡散策ウォーキングコースの開発（長瀬地区自治会連合会） ・ふるさと農道景観整備事業（荻窪自治会） ・地域が育てる西内っ子育て支援活動で住民をつなぐ、福祉・温泉の里山、西内地区（西内自治会・平井自治会） ・ふるさと景観づくりと健康の里和子自治会（和子自治会） <p>【まちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花桃の苗を植え養成と維持管理（腰越花桃の会） ・陣場地景観整備事業（陣場地区土地利用研究委員会有志の会） ・地域の景観整備と生活環境の継承（SLOW-LIFEクラブ素浪人） ・霊泉寺温泉未来プロジェクト（霊泉寺温泉の活性化を考える会） ・木曾義仲ゆかり史跡整備（木曾義仲信州丸子会） ・炭焼き技術を伝承し、山林を守り炭の活用を図る（荻窪炭焼きを楽しむ会） ・箱山城・桜ロード整備事業（箱山城・桜ロードの会） ・里山セラピー公園整備事業（鹿教湯商工会） ・お産と子育てに優しい街 うえだ（お産を考える会はぐHUG） ・かかし祭りの企画・運営事業（丸子地域を活性化する会）
真田地域	<p>【ふるさとづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダボスの丘 遊歩道整備事業（菅平区） <p>【まちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あずまや高原を憩いの広場に育てる事業（らいてうの家運営委員会）
武石地域	<p>【ふるさとづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一里花桃の里、余里自治会整備事業（余里自治会） <p>【まちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒカリ苔輝く美ヶ原焼山沢登山道整備事業（武石山岳会） ・武石早起き野球連盟 40周年記念！100周年まで続くように将来の会員を育てようプロジェクト（武石早起き野球連盟） ・「見よ美しの歌」伝承・文化交流事業（武石音頭・武石小唄を愛し保存する会）

真田地域協議会 グループ協議委員構成 (案)

①グループ	②グループ	③グループ
内海 喜内	荻原 美知男	清水 茂
下条 幹男	鈴木 正人	中沢 盛雄
前澤 幸盛	横沢 忠勝	一本鎗 武志
上原 和彦	佐藤 和雄	清水 潤

小林 満子	塩沢 憲子	関 清美
田中 直美	桑田 まなみ	坂口 恒子
花岡 静枝	宮下 蘭子	

◎ グループによる協議の進め方(案)

1. グループごとに協議するテーマを決定する

まちづくり方針に掲げた7項目や地域課題等から協議するテーマをグループごとに決定する。

※ グループ協議への導入として、地域課題である次の2案件について協議を開始することしたい。

①結婚しない男女が増えていることから、結婚問題への対応策について

②地域内で空き家が増えている状況を踏まえ、空家対策について

2. テーマに基づき、現状把握・地域課題の確認

必要に応じ、担当部署からの資料・説明を求める。

3. 目標設定、目標を達成するための施策の検討

4. 全体会への報告 ⇒ 全体会での協議

5. 具体的な施策として提案すべきものは意見書として提出